

# 日本三大祭り 大阪「天神祭」



ヨーイ！  
ヨーイ！  
ヨーイ！

大阪の夏は  
あついでー！



打ちましょ  
パンパン  
もひとつせー  
パンパン  
祝うて三度  
パンパン



神輿に乗せた船をはじめ、航行する船は100隻あまり。船渡御の途中、神様に氏子や市民の暮らしぶりをご覧いただき「水上祭」が行われています。

## ふなとぎよ 船渡御



## りくとぎよ 陸渡御

もよおしたい  
催太鼓を先頭に、豪華な衣装を身にまとった約3000人の大行列が浪速の街を華麗に彩ります。陸渡御を終えるといよいよ船渡御の開始です。

## 奉納花火

神様にご覧頂くために本宮の日に打上げる「天神祭奉納花火」。船渡御が始まり、暗くなってくると華麗な花火が打ち上がり、祭りの最後を飾っています。



## 新スタッフ紹介！



初めまして！4月から順造選スタッフに加わった大分県出身の檀上です。美味しいジュースや食品が大好きなので順造選の一員になれたこと、とても嬉しく思います！大学では『栄養学』を学び、取得した管理栄養士の資格を活かし、健康に役立つ情報を発信できればと思っております。お電話でお話しする機会がありましたら、どうぞよろしくお願いいたします♪ スタッフ 檀上

## 天神祭とは

天神祭は市内の繁栄ぶりを菅原道真の御神霊に見ていただき、さらなる繁栄を祈願するもので、道真公の生誕の日因んで行われています。全国の天満宮で開催されており、中でも有名なものが大阪天満宮の天神祭で現在では日本三大祭りの一つとされています。



## 天神祭の歴史

大阪天満宮が創建された翌々年の951年に「鉾流神事」が始まり、これが天神祭の起源とされています。「鉾流神事」とは社頭の浜から大川に鉾を流し、漂着した場所にその年の御旅所を設ける神事です。御神霊はこの御旅所へ向けて陸路で川岸まで出御、その後は船で大川を下り御旅所へ向かうルートを通りました。この航行が「船渡御」のはじまりです。



現在、鉾流神事は天満警察署前で行われ、天神祭の幕開け行事となっています。  
※御旅所：御神霊が休憩される場所